

校内研修計画

山梨市立笛川中学校

1 学校課題

本校は山間部に位置し、豊かな自然に恵まれている。生徒の減少が続いており、今年度から全ての学年が単級となった。純朴な生徒が多く、指示に対して素直に反応することができる。学区が広く、スクールバスでの通学をする生徒もおり、活動時間の制約がある。その中で学習活動、学校行事、生徒会活動、部活動等、意欲的に取り組んでいる。家庭や地域社会とのつながりも密であり、望ましい教育環境にある。一方、幼い頃よりの固定された人間関係からか、積極的に集団の向上のために声を上げるなど、自分から周囲に向けての働きかけを発信することについては弱さが見受けられる。また、大人からの指示を大切に物事を改善しようと努めるが、課題を生徒自ら発見し、考えて実行に移したり、自分の言葉で表現したりすることが苦手な生徒が多い。

2 研究主題

主体的に学習に取り組む生徒の育成

～ 対話を通した効果的な学びを目指して ～

3 主題設定の理由

上記の課題についての取組は、今までの研究の中でも重ねられており、一定の成果がでていいる。今年度も「主体的に学習に取り組む生徒の育成」という本題は継続し、生徒が個々のもつ力をさらに伸長できるような研究としたい。さらに、今年度は、教師から生徒、生徒から教師、また生徒同士の一方向通行のやりとりから一歩進めるよう、双方向でのコミュニケーションを通して、より主体的に学習に臨ませることを主眼としたい。そこで、副題を「対話を通した効果的な学びを目指して」とした。文部科学省「新しい学習指導要領の考え方」

【資料 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/_icsFiles/afieldfile/2017/09/28/1396716_1.pdf】によると、「子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める」ことを対話ととらえており、例として「・実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実社会の人々の話を聞いたりすることで自らの考えを広げる。・あらかじめ個人で考えたことを、意見交換したり、議論したり、することで新たな考え方に気が付いたり、自分の考えをより妥当なものとしたりする。・子供同士の対話に加え、子供と教員、子供と地域の人、本を通して本の作者などとの対話を図る。」など広い意味での対話を挙げている。このような対話の視点をもちながら、我々が指導内容や方法も工夫していけば、本題の達成により迫れると考え、研究主題を設定した。研究指定3年目となる笛川小学校との小中連携の取り組みも、小-中の「対話」を通してより深められるよう、今まで以上に縦のつながりを意識して研究を進めていきたい。

4 研究の具体的内容と方法

(1) 言語活動の充実

- ・主体的・対話的で深い学びを意識した継続的な授業実践（一人一実践授業の提供）
- ・日常的な取組（生活ノート指導、学活、各教科指導 等）
- ・効果的に新聞を活用した実践（NIE）

- (2) 効果的な学びの過程を重視した学習活動
- ・ ICT 機器を使った授業実践・理論学習
 - ・ 特別の教科道德の授業実践・理論研究
 - ・ 算数・数学教育や英語教育における小中の交流

- (3) 望ましい学習集団づくり
- ・ 保護者や地域・小学校との連携（家庭学習他）
 - ①「家庭学習ノート」のレベルアップを図る
 - ②家庭学習について，保護者にも協力を呼びかける。
 - ③学習規律や板書方法などを確認して徹底する。
 - ・ Q-Uの分析と結果を活用した取組

年間校内研修計画

研究主任 古屋 友香

回	2019年度 研究会予定日	研究内容	T・C要請
1	4月 3日 (水)	昨年度の研究，今年度の研究について	
2	4月10日 (水)	今年度の「研究主題・副題」等について	
3	4月17日 (水)	家庭学習の取組について，センター研修について	
4	4月25日 (木)	今年度の「研究主題・副題」等の決定（必要であれば）	
第1回Q-U実施 5月3週目13～17日（昨年14～18日）			
5	5月15日 (水)	教科ブロック日	
6	5月29日 (水)	Q-U結果分析（学年部会）	
7	6月19日 (水)	Q-U結果報告（全体会）	
8	7月 3日 (水)	指導案検討（教科ブロック含む）	
9	7月10日 (水)	研究授業／小中連携の取り組み	
8 / 7 (水) PMブロック交流①			
10	8月21日 (水)	教育課程還流報告，部会日（道德・ICT）	
11	9月11日 (水)	指導案検討	
12	9月25日 (水)	研究授業／小中連携の取り組み	○ 数学科 を予定
第2回Q-U実施 10月1週目1～4日（昨年2～6日）			
13	10月16日 (水)	Q-U結果分析（学年部会）	
11 / 6 (水) ブロック交流②			
14	11月13日 (水)	Q-U結果報告（全体会），拡大校内研に向けて	
11 / 26 (金) 小中連携拡大校内研			○
15	12月 4日 (水)	指導案検討（教科ブロック含む）	
16	1月 8日 (水)	研究授業／小中連携の取り組み	
17	1月22日 (水)	部会日（道德・ICT）1年間のまとめ	

18	1月29日(水)	研究紀要の作成について、来年度に向けてのまとめ	
2/19(水) ブロック交流③			
2/25(火) 小中連携フォーラム			
19	2月26日(水)	フォーラム還流報告 等	
20	3月4日(水)	今年度の研究のまとめ・来年度の研究の方向性について	